

化学療法抵抗性となった転移性結腸・直腸癌に対する FTD/TPI+BV 療法の実診療での有効性・安全性の検討

■ 研究の対象となる方

当院で2020年1月から12月に結腸癌・直腸癌に対してFTD/TPI+BV療法を受けられた方

■ 目的・方法

化学療法抵抗性となった転移性結腸・直腸癌に対するFTD/TPI+BV療法（ロンサーフ+アバスチン、以下療法と称する）は第2相臨床試験においてFTD/TPI単剤よりも無増悪生存期間、全生存期間ともに有意に優れることが示されていますが、実診療における本療法の効果と副作用の実態を評価するために、本療法の有効性と安全性および血液毒性時の対応方法について調査するとともに、背景因子・血液毒性・1次治療から2次治療終了までの期間と無増悪生存期間との関連についても検討することとしました。診療記録より情報を収集し、統計学的に検討を行います。

■ 実施期間

2021年9月29日～2022年2月19日

■ 研究に使用する情報

年齢・性別・原発部位・病状・転移臓器・RAS・治療ライン・AE・血液毒性時の対応(休薬・延長・減量)、1次治療開始日、2次治療終了日など
診療の中で得られた情報を使用します。この研究のために新たな検査や調査をお願いすることはありません。

■ お問い合わせ

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

連絡先	済生会熊本病院 総合腫瘍科 森北辰馬（研究責任者） 住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)
------------	--

以上